

自然冷媒化新時代、到来

Cpuzzle
CO₂ Condensing Unit

保守サービス



CO₂冷媒冷凍冷蔵コンデンシングユニット

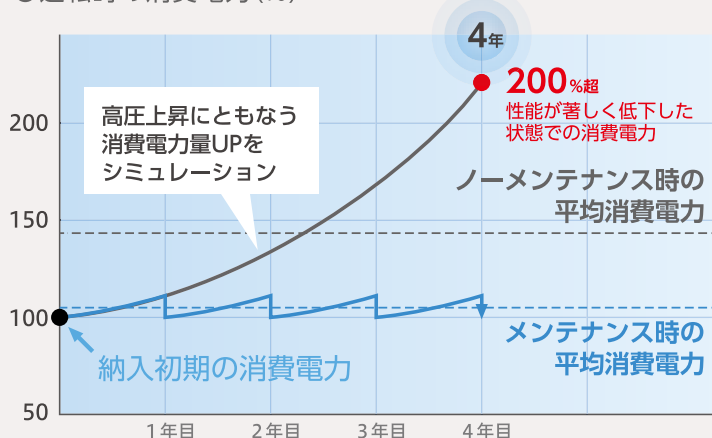


冷蔵から冷凍まで
幅広い温度範囲に対応。
環境にやさしい自然冷媒CO₂採用
CO₂冷媒冷凍冷蔵コンデンシングユニット

1 ランニングコスト低減

定期的なメンテナンスを行うことで、
ランニングコストの増加を防止

● 運転時の消費電力 (%)



上図のように、ある事例ではノーメンテナンスで運転し、約4年後に冷凍サイクル内の圧力上昇のため、性能が著しく低下し、定期メンテナンス（清掃作業）をした場合に比べ、平均で約40%も電気を余分に消費していました。

保守契約のおすすめプランと価格

1 保守契約の種類

I. スポット点検プラン

定期点検と機器の状態を総合的に判断するための保守契約プラン

II. ベーシックプラン

巡回点検、定期点検（熱交換器洗浄等）をセットにした保守契約プラン。

快適にお使いいただけるために必要な内容をほぼ網羅しており、余分な費用は極力掛からないプランです。

2 保守契約の作業項目・価格

2-1 作業項目 10馬力、20馬力共通

作業項目	保守契約の	
	I. スポット点検プラン	
保守定期点検	○ (1回/年)	
故障修理	都度対応	
室外熱交換器洗浄 (1回/年)	オプション対応	
参考価格	10馬力	20馬力
	¥100,000	¥120,000

※1 本価格表は、冷却器とコンデンシングユニットが1対1の設備における標準年間価格と機器設置状況を鑑み、見積価格を提示させていただきます。

※2 本標準年間価格は、設置後3年以内に保守契約締結の場合で、有効期間は、設置後10年とします。

※3 運搬費、交通費は別途見積とします。

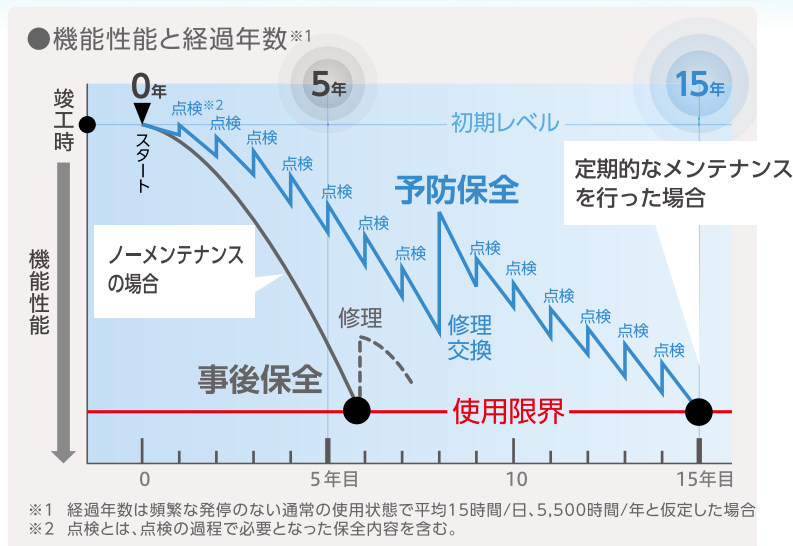
スポット修理付き保守メニュー
無料修理対象条件

1. 設置後取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で故障が生じた場合。
2. 次のような場合には、無料修理の対象となりません。
 - 1) 保証書等の提示がない場合（保守契約を締結している場合は不要）
 - 2) 直接であるか間接であるかにかかわらず、次の事由によって生じた故障または損傷。
 - ①誤った御使用、弊社の認めない修理または改造。

定期的な保守点検 4つのメリット

2 適切な予防保全で長寿命化

予防保全で偶発的な故障を最小限に抑える
定期的なメンテナンス



偶発故障を最小限に抑え、製品の仕組みや材質の品質を保持できる期間（耐用年数）を延ばすことができます。図のように、予防保全を実施していただくと、事後保全より末永く快適にご使用いただけます。

3 故障の予防

定期的な診断により冷凍ユニットの異常（故障）をある程度予測できるため、最小限の部品のメンテナンスで冷凍ユニットを維持でき、大きなトラブルを防止できます。



4 快適性の維持

徐々に始まる熱交換器の汚れには気づきにくく、汚れとともに冷凍能力も低下します。更に、ファンモーターや圧縮機などにもダメージを与えている可能性があります。異常音や異臭の発生など、冷凍システム全体の健全性低下の問題になります。定期的な点検やメンテナンスが大切です。

2-2 メンテナンス対象内容 ベーシックプランの場合

の種類の種類	
Ⅱ. ベーシックプラン	
○ (2回/年)	
○	
○	
10馬力	20馬力
¥250,000	¥280,000

となります。ご提案時には、実際の冷却器台数と

しくは、圧縮機運転 40000 時間までとなります。

対象内容
巡回点検
定期点検（熱交換器洗浄等）
冷凍機油交換※
屋内ファンモーター交換 ※
屋外ファンモーター交換 ※
電磁開閉器、電解コンデンサ、冷却ファン交換 ※
圧縮機交換（オイルセパレーター交換含む）※
シーケンサー、タッチパネル交換 ※

※ 異常（故障）が認められた場合

②火災・塩害・ガス害、地震もしくは噴火またはこれらによる津波、その他天災地変による故障。

③本製品の自然の磨耗・消耗・さび・かび・むれ・腐敗・変質・変色・その他類似の事由。

④使用者の本製品の不適切な使用または不適切な維持・管理。

3) 本製品の代替品に故障または損傷が生じた場合。

3. 次の損害は無料修理の対象となりません。

本製品の故障に起因して生じた本製品その他の財物の使用の阻害によって生じた損害。

4. 故障または損傷の認定等について当社と使用者の間で見解の相違が生じた場合は、中立的な第三者の意見を求めることがあります。

主な保守メンテナンス例のご紹介



運転データ確認



保守点検



電装品点検



漏洩検知



熱交換器洗浄



圧縮機運転確認

三菱重工冷熱株式会社

本 社：〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5 五十嵐ビルディング15F TEL:03-6891-4440 [大代表] FAX:03-6891-4474

【冷熱プラントエンジニアリング事業に関するお問合せ先】

エンジニアリング事業本部	プラントサービス営業課	〒144-0033 東京都大田区東糀谷4-6-32 6F	TEL：03-5735-7638
低温食品プラント部	営業課	〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-8-1	TEL：046-272-3025
近 畿 支 社	プ ラ ント 部	〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北1-5-21	TEL：06-6391-4782

【地域別お問い合わせ】

北海道	011-846-1271	東北	022-783-9366	盛岡	019-908-2161	宇都宮	028-655-2381	筑波	029-842-8423
千葉	043-208-2551	中部	052-856-0971	金沢	076-293-0639	京都	075-284-0017	米子	0859-24-0770
四国	087-868-2828	広島	082-534-9721	九州	092-482-0008				

三菱重工冷熱・ホームページ <https://www.mhiar.co.jp>